

■本莊幽蘭 内外で数十の職業につき、各分野に人脉、120人以上の男と関係し、50人は夫という破天荒さで、時代を彩った。

ほんじょうゆうらん

沖縄県編入・1879=

明治14年政変1881= 2歳:

大阪の中之島で、築後国久留米藩主番頭の末裔で弁護士の本荘一行の次女に生まれる。本名は久代。

岩倉具視没・1883= 4歳:

父は五代友厚の腹心となって大阪商法会議所創立に参画し、{大阪新報}の社主になるなどほだったが、極めて感情的で、その母、つまり祖母松には精神に異常があったことから、キリスト教の家系出の母花子は、精神を病み、7つ上の姉田野を連れて、福岡県旗崎村の曾祖母の実家に移住。物心ついた頃には、母も姉もおらず、元芸者末とその縁者に乘っ取られたような状態で、冷遇されて育つ。

内閣発足・・1885= 6歳:

父に連れられ、横浜に移住。

帝国大学始・1886= 7歳:

姉田野も精神の病を得、その回復を機に、母、祖母とともに、西久留米の本荘家の屋敷に住むことになるが、父からの送金は無く、機織りなどの内職でつましく暮らしながら、原古賀尋常小学校に通い、

初の対等条約1888= 9歳:

帝国憲法発布1889=10歳:

帝国議会始・1890=11歳:

葭原町の尋常高等小学校に入学、女子師範学校に進んで、教師になって母を助けようと思うも、機織りのために学校を辞めてほしいと言われ、退学。富豪と結婚した姉も助けてくれず、

郡司千島探検1893=14歳:

日清戦争始・1894=15歳:

婿選びの話が持ち上がり、候補になった吉和國雄に好感を抱くも、歯科の勉強のためと、東京に行ってしまう。最愛の祖母が危篤になって来訪した父は、祖母から、'末を追い出し親子4人で暮らす'よう遺言されるも、死去すると反故にした上、

日清戦争終・1895=16歳:

白馬会・・・1896=17歳:

八幡製鉄始・1897=18歳:

自分だけが父のもとに戻されてしまう。陸軍予備少尉を婿に迎えるよう決められ、母を離縁し、末と再婚すると宣言。ショックを受けて家出し、久留米に向かうも、連れ戻されるが、忠之が軍法会議に付せられ収監されて、縁談は消えたところに、試験に合格した國雄が来訪、期待が膨らむも、國雄の義兄の反対で消える。思いつめ、國雄の仕事を手助けするべく、英語を学ぼうと、宣教師バラを訪ねて、フェリス和英女学校入学を許され、学校生活を楽しむうち、

子規句歌革新1898=19歳:

母の従兄の牧師らが現れ、説教されて退学。父が縁談を進めようとした阪本格の話は、末が認めず消えたが、\*勝手に思いを寄せる男久留米藩家老の末裔有馬重男に強姦されて妊娠し、墮胎薬を飲まされて死産。川に流した遺体が発見されて、警察の追及が始まり、ついに発狂、巢鴨病院に入れられる。有名な"草原將軍"と並ぶ名物患者になるが、医長の配慮で、盛んに名を口にする國雄から、見舞いの手紙と写真がくると失神、気が付けば正気に戻っていたが、家庭の事情から、しばらく滞在するうち、

Bushidou・・1899=20歳:

参観に訪れた明治女学校の教師から同情され、ユニークさで知られた同校に入学、成績優秀で、容姿も目立ち、パンカラな学風にもなじて、大胆不敵な女幽蘭に変貌、男との無差別的な関係が始まり、

ピア/国産化・1900=21歳:

教科書疑獄・1902=23歳:

校長巖本善治の計らいで、吉和國雄と念願の結婚をし、第二子道孝を出産、母も再婚して平和だったが、思わぬことから、重男とのことを知られていたたまたま、道孝を仲人に預けて、東京へ出奔すると、同郷人会(久留米倶楽部)の関常吉に犯され、第三子を妊娠、常吉の親友武田範之が住職の新潟の顕聖寺に預けられ、車中で美少年野波静雄を見初める。武田も野波も(黒龍会)につながり、同会は久留米出身者が多く、父もつながっていた\_【黒龍会】の庇護のもとにあったとみられ、

日比谷公園・1903=24歳:

東京に戻って、第三子常世を出産するが、常吉の対応に憤慨し出奔。{救世軍}に入って中尉に任じられるも辞め、印刷会社社員で(黒龍会)会員の男に犯されて交際、{京浜新聞}の記者になるも、社長に犯されて辞職、創刊された{電報新聞}探訪員を経て、{ニューヨーク生命保険}の外交員になって安定したのも東の間、

日露戦争始・1904=25歳:

{対露同志会}の男に犯されて辞め、{読売新聞}記者となり、署名入りで、訪問インタビュー記事を書いているが、それも東の間、首になり、職探しの間も、4人の新聞記者と1人の壮士と交際、{天狗煙草}の奇人岩谷松平のところに寄食後は、\_職を転変としながら、'只男の挑むがままに任せる'に至る。同情してくれた新聞記者と結婚するも、即離婚され、ベルギー公使館に勤める男爵に恋するもあっけなく終わり、

日露戦争終・1905=26歳:

{やまと新聞}に入社して優遇されるも東の間、演劇集団{若葉会}に入って、女優デビューすると、子役に熱を上げ、京都巡業中には美少年木村夢弓(秀雄)に恋するも、妻駒子への愛を守られて嫉妬。大阪に向かい、かつての婿候補の縁で、新派の祖角藤定憲一座に加わると、定憲ほか数人と関係。東京に戻って{常盤座}に出演する前にも4人と交際するなど、\_もはや止めることができなくなってしまふ。

満鉄発足・・1906=27歳:

横浜の大仕掛け舞台に出演し、雑誌{女子成功}創刊号に「泰西式初舞台」を寄稿するも、女優稼業に飽き、{萬朝報}記者になってまもなく、父が死去、慟哭するも末に冷遇され、久留米に帰省するが、男関係で颯爽を買って帰京。カメラの{シュミット商会}に入るが、主のパウエル・シュミットのなすがまま。

韓国反日暴動1907=28歳:

上野で東京勸業博覧会が開催される運びになるや、父の遺産の使い道とばかり、動物園下に{幽蘭軒}という喫茶店を開き、"不気味な茶店"と話題、会場を闊歩新興神道集団{神風会}に入会し、優男に打ち込んで商売は破綻し夜逃げ、1ヶ月後には、扶桑教の少教生になった記事が出、{隆文館}の豪華本の販売員後、神田でミルクホールを開業するも1ヶ月持たず、借金肩代わりの結婚話も破談と、\_諸新聞には動静が追跡され、冷静かつ公平な「奇人本莊幽蘭女史」を連載した宮武外骨以外は、擁護派と否定派に分かれた極論ばかり、

アヲキ創刊・1908=29歳:

伊藤博文暗殺1909=30歳:

辻占の豆粒りに転身した記事後、しばらくマスコミから消え、高知で活動弁士になった記事、\*この頃には、一夜でも関係した全ての男性の名を記した手帳「錦蘭帳」の存在が知られている。{九州毎日新聞}に入社して連載した自伝的小説「赤裸々の懺悔」を各誌に売り込み、制露計画を吹聴、その成果が、忽然と大連に現れて{幽蘭ホテル}を開業するも、男関係で破綻、懺悔話をネタに強請ることまでしている。

韓国併合・・1910=31歳:

意気投合したインド人と神戸で出演する一方、大阪でミルクホールを開いて、{精神病全治者救護事務所}の看板を掲げるも頓挫、またもの結婚話も破綻して、いよいよ金に窮してくる。

大逆事件判決1911=32歳:

明治天皇没・1912=33歳:

第一次大戦始1914=35歳:

雑誌{大国民}に写真が掲載され、雑誌{新公論}に、全うな男性論「私の見た男子」を寄稿。食い詰めて台湾に渡ると、{女流新講談本莊幽蘭独演会}などで人気、帰国して、劇団を創るもダメで、またも新吉原で娼妓になろうとするも、当然に断られ、社会主義者福田狂二と、24日目になる結婚し、浅草で曾我廼家五九郎一座の話題作「チョコレート兵隊」に出演、五九郎に木村駒子を紹介している。

21ヶ条要求・1915=36歳:

民本主義・・1916=37歳:

ロシア革命・1917=38歳:

本格政党内閣1918=39歳:

ペルシヤ条約・1919=40歳:

珍しく続いた福田とも破局、大阪に戻って、通天閣で{幽蘭パー}を開き、女優劇団の座長後、一時不明。長年の夢だった南洋シンガポールに現れて評判の一方、マレーシアのバトパハに渡ると女ルンペンの評。沖縄では、講演会や舞台で評判になるが、九州に戻って後は不評で、前借しては踏倒し、搜索願も度々、熊本での講演会に、「南洋諸島踏破談」として、自らの回顧話、旧久留米藩主の家政相談人で枢密院議長倉富勇三郎に金の無心に来ており、後見人のような存在だった倉富は、幽蘭の墮落の原因は家庭のせいであると同情していたらしい。その後、浅草に尼となって現れ、懺悔独演会をし、雑誌{女の世界}に、剃髪姿の写真が掲載される。さらに、日本各地で講演や出演。

原敬首相暗殺1921=42歳:

水平社結成・1922=43歳:

護憲三派圧勝1924=45歳:

共産党事件・1928=49歳:

満州事変・・1931=52歳:

五一五事件・1932=53歳:

国際連盟脱退1933=54歳:

帝人疑獄事件1934=55歳:

二二六事件・1936=57歳:

満州で、発刊された雑誌{朝鮮公論}に、長い紀行文「露支満朝を股にかけて」を寄稿するが、以後、不明。

突如、大阪に出没後、東京本郷に{文化編物教授所}開設、{京都日出新聞}に「懺悔録」を連載するも途絶。\*久しぶりの記事が{新愛知}に掲載された時には、すでに過去の人物になっており、

溝口健二の映画「満蒙建国の黎明」に、軍服姿で出演していたという。ハルビンに向かう国際列車が途中、馬賊に襲われ拉致された際の乗客の一人で、3ヵ月後に救出され、{サンデー毎日}のインタビュー記事に、その間のことを語り、大連で、講演会も開催。

大阪で、頭山満からの指示か、総選挙に立候補した日朝鮮人の李善洪の応援演説をするなどするうち、宿代を踏み倒した廉で、ついに検挙されるも、留置中にもなお自伝を執筆するしたたかさを見せたが、

東京で、偶然知った同郷の市議選立候補者を応援したとの記事を最後に消息を絶つ。

日中戦争始・1937=58歳:

日米開戦・・1941=62歳:

・・・・1942=63歳:

敗戦・・・1945=66歳:

朝鮮戦争始・1950=71歳:

独立回復・・1951=72歳:

テレビ放送始・1953=74歳:

戦中から敗戦にかけての所在は不明ながら、無事、生き延びたらしい、雑誌{キャピタル}に「奇人傳」に登場、なお意気軒昂で、写真も掲載されたが、

\*{講談研究}に、「童話」を寄稿したというのを最後に、まもなく没したらしい。

平山亜佐子「問題の女 本莊幽蘭伝」、